

大雪山国立公園連絡協議会

大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会（第1回）

日時：令和4年7月15日（金）13:30～

場所：上川町役場大会議室

（オンライン会議システム併用）

次 第

1. 開会

2. 報告

大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会の設置について

3. 議事

（1）大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

（2）今後における本作業部会の進め方について

（3）その他

4. 閉会

【配付資料】

資料 1 大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会の設置について

資料 2 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

資料 3 各構成員による取組状況

参考資料 1 大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言

令和4年7月15日

令和4年度 大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会（第1回）

出席者名簿

構成機関、団体等	総会出席者（敬称略）	備考
上川中部森林管理署	総括森林整備官 阿部 恭久	WEB
上川南部森林管理署	森林情報管理官（管理） 米田 和敏 上富良野森林官 三上 祥隆	WEB
十勝西部森林管理署東大雪支署	事務管理官 前畑 慎一 係員 大志万菜々子	WEB
（一社）かみふらの十勝岳 観光協会		欠席
（株）りんゆう観光	層雲峡事業所長 山崎 弘二	WEB
道北バス（株）	取締役運輸本部長 福内 直樹	会場
大雪と石狩の自然を守る会	沓澤 克嘉	会場
十勝自然保護協会	理事 津守 佑亮	WEB
北海道大学大学院 地球環境科学研究院	教授 渡邊 悌二	欠席
北海道大学大学院農学研究院	准教授 愛甲 哲也	WEB
北海道 上川総合振興局	保健環境部環境生活課 主査 中島 浩之 保健環境部環境生活課 主事 中里 海斗	WEB
北海道 十勝総合振興局	保健環境部環境生活課自然環境係 主事 村上 桐生	WEB
富良野市	経済部商工観光課 観光係 三好 舞咲	WEB
上川町	産業経済課 課長補佐 吉田 進 商工観光グループ 係長 鈴木 創太 商工観光グループ 主事 戸田 源	会場
東川町	旭岳ビジターセンター 宋 東憲	WEB
美瑛町	商工観光交流課観光振興係長 平田 敦史	WEB
上富良野町	企画商工観光課商工観光班 主事 森 英誠	WEB
士幌町	産業振興課産業振興グループ 澤崎 聖美	WEB
上士幌町		欠席
鹿追町		欠席
新得町		欠席
層雲峡ビジターセンター		欠席
NPO 法人かむい	代表理事 濱田 耕二	会場
Asahidake Trail Keeper	代表 藤 このみ	WEB
NPO 法人大雪山自然学校	旭岳自然保護監視員 社本 麗南	WEB

勤労者山岳連盟（道央地区）	自然保護委員長 伊吹 省道	WEB
合同会社北海道山岳整備 一般社団法人 大雪山・山守隊	代表社員 岡崎 哲三	WEB
山樂舎 BEAR	代表 佐久間 弘	会場
大雪山倶楽部		欠席
TREELIFE		欠席
山のトイレを考える会	代表 小枝 正人 事務局長 仲俣 善雄	会場
美瑛山岳会	理事長 内藤 美佐雄	会場
山岳レクリエーション管理研究会	事務局長 山口 和男	WEB
NPO 法人ひがし大雪 自然ガイドセンター		欠席
十勝山岳連盟		欠席

事務局

所属	役職	氏名
環境省大雪山国立公園管理事務所	所長	広野 行男
	国立公園保護管理企画官	畠山 直樹
	国立公園利用企画官	高橋 広子
	係員	西井 野乃香
	自然保護官補佐	忠鉢 伸一
	自然保護官補佐	入江 瑞生
	東川管理官事務所	福濱 有喜子
	自然保護官補佐	渡邊 あゆみ
	上士幌管理官事務所	齋藤 佑介
	国立公園管理官	

「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」

大雪山国立公園の広大な高山帯には色とりどりの高山植物が咲き誇る美しい景観が広がり、多くの登山者を魅了するとともに、地域の誇りとなっています。

しかし、トイレがない避難小屋や野営地を中心に、し尿の散乱が大きな問題となっています。し尿を排出するため登山道以外の場所を踏みつけることで高山植物が減少し、さらに、裸地が拡大し、踏み分け道の伸張により土壌の流出も生じてしまいます。

原生的で人工的構造物の極めて少ない大雪山国立公園の自然景観を末永く保全し、登山者や地域が今後も大雪山国立公園の魅力を享受し続けるためには、し尿散乱問題を大規模な施設整備によって解決するのではなく、携帯トイレの活用によって解決する必要があります。

そこで、私たちは、携帯トイレを活用して、関係者すべてがそれぞれできる取組を少しずつ行うことで、し尿散乱問題を解決するため、次のことを宣言します。

大雪山国立公園では、

1. 携帯トイレを適切に使用することで雄大で原始的な景観と共存する登山を推進します。
2. 登山者に快く携帯トイレを使ってもらえるような環境づくりを行います。
3. 登山者に対して携帯トイレの利用を推進するための呼びかけを行います。
4. 携帯トイレの普及に協力してくれる人の輪を広げます。

平成 30 年 7 月 10 日

大雪山国立公園連絡協議会、旭川勤労者山岳会、旭川山岳会、上川山岳会、
上富良野十勝岳山岳会、新得山岳会、十勝山岳連盟、美瑛山岳会、
富良野山岳会、札幌山岳連盟、日本山岳会北海道支部、
日本ヒマラヤ協会北海道、H A T - J 北海道支部、北海道勤労者山岳連盟、
北海道山岳ガイド協会、北海道山岳連盟、北海道道央地区勤労者山岳連盟、
山のトイレを考える会、大雪山国立公園パークボランティア連絡会

「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」を実施するための具体的な取組

1. 雄大で原始的な景観と共存する登山の推進

野外し尿が周囲の自然環境へ大きな影響を与えうる水源地や脆弱な高山植生帯、または他の登山者に対して著しい不快感を与えうる野営指定地等では、携帯トイレの使用による野外し尿ゼロを目指します。

2. 環境づくり

(1) 携帯トイレブースの設置や維持管理

- 美瑛富士避難小屋及び南沼野営指定地では、連携・協力して、取組を着実に実施します。
- 携帯トイレブースが必要な箇所については、環境省、北海道、各市町、関係団体が相互に連携、協力して、携帯トイレブースの設置とその後の維持管理を検討します。

(2) 携帯トイレの回収体制

- 必要箇所に携帯トイレ回収ボックスを設置することを推進します。
- 回収ボックス維持管理体制を確認、共有し、情報を更新、公開することを通じて、回収体制を維持、強化します。

(3) 利用者向け情報発信

- 携帯トイレの入手可能箇所、トイレマップに関する情報発信を行います。

3. 登山者への呼びかけ

- 登山者に対して、次の呼びかけを行います。
 - ・大雪山国立公園では、携帯トイレを常に持参すること。
 - ・常設トイレは適切に使用し、携帯トイレは常設トイレがない箇所で使用すること。
 - ・現にし尿散乱が大きな問題となっている美瑛富士避難小屋や南沼野営指定地をはじめ、宿泊地など登山者が集まる場所や水源地では、携帯トイレを確実に使用し、野外にし尿を排出しないようにすること。
 - ・登山道の途中など問題となっていない場所でも、携帯トイレを使用し、持ち帰るよう努めること。

4. 輪を広げる

—関係機関、団体、事業者に対して、次の呼びかけを行います。

- ・携帯トイレの普及啓発活動、利用者向け情報発信の実施に協力すること。
- ・この宣言の趣旨に賛同する、携帯トイレ普及パートナーになること。
- ・利用拠点や登山用品を扱う事業者は、携帯トイレ販売に協力すること。
- ・ガイド事業者は、自己の客に携帯トイレの使用を働きかけること。
- ・携帯トイレやアウトドア製品を製作する事業者は、利用者と協力して、より使いやすい携帯トイレの開発や、携帯トイレを快適に使えるような登山用具を開発し、販売及び普及に努めること。

大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会の設置について

大雪山国立公園連絡協議会
令和 4 年 5 月設置

大雪山国立公園連絡協議会規約第 11 条に基づき、次の作業部会を設置する。

1. 作業部会の名称

大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会

2. 作業部会の目的

大雪山国立公園では、野営指定地や登山道上におけるし尿排泄の問題が改善に至っていない状況にあることから、場所ごとの特性に応じ携帯トイレを利用しやすい環境づくりを進めるための検討を行うとともに、既設の常設トイレ等の再整備や改善策に関する検討を行うもの。

3. 検討内容

- (1) 野外へのし尿排泄の問題が見られ改善が必要とされる野営指定地等における、携帯トイレを利用しやすい環境づくり（携帯トイレブースの設置、維持管理、回収体制の構築、利用者向けの情報発信）
- (2) 既設の常設トイレ等の再整備及び改善策
- (3) (1)、(2) の検討にあたって必要な事項

4. 検討体制

大雪山国立公園連絡協議会会長が指名した次の者により構成する（名簿別紙）。

- (1) 大雪山国立公園連絡協議会の構成員のうちの希望者
- (2) 登山道維持管理部会（表大雪地域、東大雪地域）の構成員及びオブザーバーのうちの希望者
- (3) (1)、(2) の他、会長が出席を求める者

5. 設置期間の考え方

本作業部会は、野外へのし尿排泄の問題が見られ改善が必要とされる課題箇所及び既設の常設トイレ等の再整備及び改善策について、基本的考え方及び対応方針が明らかにされるまでの間設置するものとする。

大雪山国立公園連絡協議会
大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会名簿

大雪山国立公園連絡協議会構成員
北海道地方環境事務所
上川中部森林管理署
上川南部森林管理署
十勝西部森林管理署東大雪支署
かみふらの十勝岳観光協会
(株) りんゆう観光
道北バス (株)
大雪と石狩の自然を守る会
十勝自然保護協会
北海道大学大学院環境科学研究院 渡邊悌二教授
北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也准教授
北海道上川総合振興局
北海道十勝総合振興局
富良野市
上川町
東川町
美瑛町
上富良野町
士幌町
上士幌町
鹿追町
新得町
層雲峡ビジターセンター

表大雪/東大雪登山道維持管理部会構成員・オブザーバー

NPO 法人かむい
Asahidake Trail Keeper
NPO 法人大雪山自然学校
勤労者山岳連盟（道央地区）
合同会社北海道山岳整備／一般社団法人大雪山・山守隊
山樂舎 BEAR
大雪山倶楽部
TREE LIFE
山のトイレを考える会
美瑛山岳会
山岳レクリエーション管理研究会
NPO 法人ひがし大雪自然ガイドセンター
十勝山岳連盟

2022 年 6 月現在 合計 35 機関・団体
 ※作業部会開催時においては、名簿に記載のない登山道維持管理部会構成員及びオブザーバーに対しても案内を行なうこととし、幅広い協議体制を確保する。

団体・機関名：北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	携帯トイレ普及宣言の周知	宣言時より，その周知は停滞していないか。パートナーの登録や，パートナーシップによる活動の現状が共有されているだろうか。	普及宣言の周知について点検が必要。また，パートナー登録もすすめるべきでは。	短期 ○中期 長期
2	野営指定地の踏み分け道の把握	トイレ問題が認識された当初より，各野営指定地などの踏み分け道が変化したか把握されているか。	ドローンなどを活用した，踏み分け道の定期的な調査が必要では。	短期 ○中期 長期
3	野営指定地以外のトイレの状況の把握	野営指定地以外で，宿泊利用されている場所や休憩場所，山頂付近などにおいて，紙やし尿の産卵などがみられないか。	登山者，関係者を含めた情報収集，共有が必要。	短期 ○中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名：(株)りんゆう観光

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	黒岳石室バイオトイレの機能不全	黒岳石室の道設置のバイオトイレについて、機能不全等で処理しきれず、し尿汲み取りしてヘリで運搬している。	根本的な構造、仕組みの再検討	短期 ○中期 長期
2	上記トイレの特定日におけるオーバーユース	上記トイレの特定日（海の日や三連休や紅葉期の連休）にオーバーユースとなり、汲み取りが追い付かず、満杯となる。	携帯トイレのさらなる利用促進、周知、機運醸成	○短期 中期 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名：山のトイレを考える会

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	大雪山 裏旭野営指定地に(常設型)携帯トイレブースを設置する件	当該野営指定地には山岳トイレも携帯トイレブースも無い為に、登山者は野営地周辺の高山植物帯に踏み入って(姿を隠して)携帯トイレを使用している。このままでは遠くない将来に高山植物への悪影響が顕在化する。本野営地を利用している登山者は、携帯トイレの使用に協力的である。大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言で謳う「登山者に快く携帯トイレを使ってもらえる環境づくり」実現は今必要である。	1)携帯トイレブース設置に関する業務執行機関の明確化(上川総合振興局or環境省)は必要と思うが、執行機関だけに任せっぱなしでは問題解決には向かわない。関係者全体の関わり協力が必要と考える。 2)本野営指定地は強風が吹く。耐強風(○m/s)の本体強度と施工方法・アンカー強度の設計検討と概算予算検討がまず必要と考える。 3)維持管理体制の検討(利用者も含む協力体制)が必要。	短期 中期 長期
2	大雪山 黒岳公衆トイレの機能改善適正化に関する件	黒岳公衆トイレ(以下、黒岳バイオトイレと称す)は、2004年(H16年)正式供用開始以降、期待した能力を発揮できないまま現在に至っている。辛辣で失礼な表現をすれば、充填材オガクズとし尿を混ぜてトイレ内に貯留をしている状況でありバイオトイレとしての処理は成されていない。 現状では、黒岳バイオトイレは大雪山国立公園の魅力を毀損している状況にある。	供用開始以来の業務執行機関(上川総合振興局殿)のご苦勞・苦闘を否定するものではない。公共事業(補助事業)で整備した施設の改善方法には制限があり今日に至っている。しかし根本的に再検討し再整備する時期に来ている。業務執行機関の機能改善方針に協力や協働できることはあるはずである。 再整備の検討の際には、諸々を決定の為に根拠データの整理や取得、モニタリングが重要と推察される。	短期 中期 長期
3	大雪山国立公園全範囲に亘る山岳トイレ等(関係する全ての種別事項)の全体改善計画策定	大雪山国立公園の山岳トイレ等の問題・課題は、所轄する業務執行機関の多さも含め多岐に亘る。その内容は、各避難小屋のトイレの事、各野営指定地のトイレの事、必要箇所への携帯トイレブース整備の事、整備された施設の維持管理の事、登山口に備えるべき携帯トイレ回収ボックス整備の事、廃棄物の処理・処分の事など多種多様に存在する。全体像のとりまとめとあるべき姿の策定が未だまとめられていない。	大雪山国立公園全体に亘る山岳トイレ等の問題・課題について、考え得る該当内容のリストアップ、業務執行機関の明確化、改善優先順位案の提案、利用者(登山者)が担う係わり等も含めてワーキンググループ(希望団体)を設けて「検討案」を策定する。その後、ワーキンググループ検討案内容を基に作業部会で討議し、全体改善計画を策定する。 策定したのちは、関係者全体で改善に立ち向かう。	短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名： 山岳レクリエーション管理研究会

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	山岳トイレ検討に関する方向性および議論の進め方の共有	検討のための議論を始める前に、①「 全体の方向性 」および②「 議論の進め方 」を 全体で共有 してから始めないと、「枝葉末節」な議論に時間が費やされる恐れが十分にあります。	①「 全体の方向性について 」・・・「大雪山ビジョン」および「携帯トイレ普及進宣言」で方向性が示されているのでこれをコンパスとして「道迷い」しない確認が先ず必要と考えます（注1）。また、制約条件（予算、時間、人員、法制度）は先ず考えず大雪山の持続的環境保全の為にやるべきことのリストアップが必要です。そのリスト後に制約条件を整理・勘案して優先順位などの行動計画を作成すべきと考えます。 ②「 議論の進め方 」・・・コーディネーターを置くことがよろしいと思われます（注2）。年間での開催頻度、開催形式を予め大まかに決定する事。「次回の議論の題目」をその回の最後に決める事。MLを作成して資料や議論点を関係者から予め出す事（＝ML上では議論はご法度で議論のための「珠だし」が賢明）等々がよろしいかと考えます。 *注1）現時点では利用の観点でなく、環境保全の観点での議論が目指す方向性と認識してます。 *注2）大雪でのトイレの議論や実践は歴史が長いので前後を知った人が音頭を取るのがいいです。	◎短期（一番最初に決める） 中期 長期
2	対象地点のピックアップとそこでの課題の整理	議論を始める前に、この地域で検討する 対象地点の絞り込み と 各地点での課題の整理 が必要と思われます。	対象地点は「避難小屋」、「野営指定地」の他に「登山口」、「登山道途中」などが候補と思われますが、「野営指定地」は愛甲先生が以前より提案されている大沼指定地などの見直し、また「登山道途中」では高原温泉沼めぐりコースや裾合平途中など既にあるものも含めて利便性の為でなく環境保全の観点から全体のピックアップが必要です。一方、各所での課題の整理は「現状は対応しない」、「携帯トイレブース設置」、「移動式トイレユニット設置」および「既存トイレ施設の改良」等の選択肢をすべきと考えます。これは制約条件があって出来るかできないかは別として、環境保全に必要なかどうかで議論すべきと考えています。	短期 ◎中期（二番目に決める） 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名： 十勝総合振興局

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	携帯トイレ回収ボックスへのゴミ捨て	携帯トイレ回収ボックスには、携帯トイレ以外のゴミは捨てないよう張り紙をしているが、登山中に発生したゴミを捨てていく事案が後を絶たない。下着や衣類が捨てられていることもあり、回収業者への負担が大きくなっている。	誰の目にも留まるような位置に張り紙を変更する、赤字で目立つようにする。	短期 中期 長期
2	携帯トイレブースの増設要望の声がある	トムラウシ短縮登山口から南沼野営指定地までの間は携帯トイレブースがなく、中間地点に設置を希望する声が上がっている	環境省・新得山岳会等関係各所と連携し、中間地点にテント型の簡易的なブース設置試行について検討中。	短期 中期 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名：上川南部森林管理署

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	未経験者や初心者を含めた登山者に対するし尿処理にかかる普及・啓発について	経験豊富な登山者については、環境に与える影響についても認識されていることから、携帯トイレを利用されている方が多いと認識しているところ。	し尿処理に対するより一層の普及・啓発の手法の構築と携帯トイレの回収方法について検討する必要がある。	短期 中期 長期
2				短期 中期 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名：新得町

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	トムラウシ山登山道のし尿問題	令和3年度より、トムラウシ山短縮登山道入り口において、携帯トイレの無人販売を実施中。 現状を見る限り、状況は改善されている。今後は携帯トイレを使用できる場所の確保が必要と思われる。	地元山岳会とも連携し、今後も携帯トイレの普及拡大について啓発を行っていく。	短期 中期 長期
2				短期 中期 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名：山樂舎BEAR

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	裏旭野営指定地におけるし尿問題	野営指定地になっているのに、トイレも携帯トイレブースもないのはおかしい。	裏旭野営指定地に携帯トイレブースの設置に向けて、設置方法及び維持管理体制について検討が必要と思われる。	短期 中期 長期
2	白雲岳避難小屋・忠別岳避難小屋・ヒサゴ沼避難小屋のトイレ問題	①小屋に隣接しているトイレが老朽化しており、建て替えが必要と思われる。 ②個室の数が少ないため、混雑時には長蛇の列ができることがある。 ③白雲小屋はテント場とトイレが離れすぎており、悪天候時の利用が難しい。	①トイレの建て替えを検討すべき。 ②携帯トイレブースを併設し、混雑の軽減を考えるべき。 ③テントサイトに携帯トイレブースを設置すべき。	短期 中期 長期
3	トイレの持続可能な利用について	黒岳石室のトイレの例を見てもわかるように、気候条件の厳しい大雪山では、バイオトイレは機能しない。汲み取り式を念頭にトイレの維持管理を考えなくてはならない。	カートリッジ式のトイレの場合は、ヘリコプターによるタンクの輸送が必要になるが、コストの負担を協力で賄うには限界がある。 トイレのキャパシティーを限界まで使うためには、水分を地下に浸透させ、固形物のみを運び出すほうが有利と考えられる。 場合によっては、し尿運搬のボランティアを組織することも検討してはどうだろうか？	短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名：大雪と石狩の自然を守る会

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	赤岳～白雲岳登山道のし尿処理	白雲岳までの間で用を足す為に登山道を外れて岩場の影まで行く登山者が散見される。	携帯トイレブースの設置に向けて、設置方法及び維持管理体制について検討が必要と思われる。	短期 ○中期 長期
2				短期 中期 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名：道央地区勤労者山岳連盟 自然保護委員会

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	裏旭野営指定地におけるし尿問題	携帯トイレブースがないため、登山者は姿を隠す岩陰もないので非常に困惑している。また夜中にテントのそばで排尿をしており、テン場が汚染されている。近くには水場の小川があり水質汚染が危惧されている。	夏山シーズンだけでも期間限定で携帯トイレブースを早急に設置してはどうか。最初はテント式でもいいが、いずれは耐風性のある木造の携帯トイレブースの設置が望ましい。大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言にある推進策を確実に実現する必要がある。	○短期 中期 長期
2	避難小屋に付設しているトイレの老朽化が進んでおり、再整備が必要である。	現状のポットトイレ方式は環境衛生上好ましくないのは自明のことである。	便槽そのものを交換できるカートリッジ方式への転換を早急に検討してはどうか。ヘリコプターで吊り下げ移送ができる。なお短期的な課題として避難小屋に携帯トイレ回収BOXの設置を検討してはどうか。登山者から協力金を徴収するとき、このサービスは縦走者から歓迎されると思われる。アンケート調査では縦走者は使用済み携帯トイレを持ち歩きたくないという回答がある。	短期 ○中期 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名：NPOひがし大雪自然ガイドセンター

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1		上士幌町内登山道についてはニペソツ停滞トイレブースとニペソツ及び石狩登山口の常設トイレで、現在トイレ問題は顕在化していない。 ニペソツ携帯トイレブースは昨年度更新をしたばかりだが、本体はセブンイレブンの助成金、荷上げは環境省ワーケーション補助金と、資金獲得に苦労した。次の更新を行政主導で行えるようシステムづくりを期待したい。		短期 中期 長期
2				短期 中期 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名：十勝自然保護協会

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	し尿の適切な処理が徹底されていないため、価値ある自然環境が損なわれている。	利用者にし尿の適切な処理をより強く求めることはできないか。	①登山等での自然利用において、利用者はし尿処理を適切にすることを義務化することを検討してはどうか。野営指定から始める等、段階的な導入。 ②トイレ環境整備の拡充。 ③ルールの周知、携帯トイレの普及	短期 ○中期 長期
2				短期 中期 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名： Asahidake Trail Keeper

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	トイレの数（場所）と携帯トイレの認知度	登山道上にほとんどトイレがないこと、携帯トイレが必要であることが十分に知られていない。（特に日帰り登山者）	様々な場所や媒体で情報を出す必要がある。	短期 中期 長期
2	小用での携帯トイレ利用方法	携帯トイレを持っていたても、小用では勿体無いからと使わない場合があるとのこと。（伝聞）	大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ以外の小さな携帯トイレやピーボトルの普及、販売。 小用での携帯トイレ利用を強く推奨する場所（野営指定地、登山者の多い山域など）を設定してトイレブースの設置を進める必要があると思う。	短期 中期 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名：NPO法人大雪山自然学校
東川町大雪山国立公園保護協会「自然保護対策事業」委託事業

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	旭岳登山道や姿見の池園地における排泄物問題	登山に行かれる方は、早朝に出発される方が多いが、早朝に携帯トイレを購入できる場所が登山口近くになり。	旭岳ロープウェイ姿見駅にて、携帯トイレ自販機を設置し、現在試験運用中。 今後も継続して運用できるように、体制を整えて行く。	短期 中期 長期
2				短期 中期 長期
3				短期 中期 長期

【報告様式】 山岳トイレ等検討作業部会における検討事項について

団体・機関名： 大雪山国立公園管理事務所

No.	検討課題	課題状況・内容に関する現状認識	改善に向けた対応策、課題解決策	検討期間 (選択○印)
1	避難小屋付帯トイレの再整備	・既設の避難小屋付帯トイレが老朽化 ・地下浸透処理方式による自然環境への影響が懸念 ・自然環境の保全及び公園利用の質的向上を図るため改善が必要	・R4年度において、白雲岳避難小屋及び忠別岳避難小屋の付帯トイレを対象に、再整備に向けた測量調査、設計を予定 ・再整備後の持続的な維持管理体制について、関係行政機関及び関係団体と調整 ・ヒサゴ沼避難小屋及び上ホロカメットク山の避難小屋の付帯トイレについても、将来的な改善策を検討	短期 中期 長期
2	携帯トイレの利用環境の充実及び利用者への普及啓発の促進	・野営指定地及び登山者が多い登山道区間等において、携帯トイレブースが未設置であることによるし尿排泄の問題について、個別・具体的に実態把握や改善策の検討が必要 ・携帯トイレの利用環境の充実に応じた、適切かつ効果的な利用者への普及啓発	・裏旭、沼ノ原大沼等におけるし尿排泄の実態について、関係団体等と協力し把握するとともに、携帯トイレブースの設置に向けた具体策を検討 ・黒岳及び旭岳の周辺登山道等、登山者が多くし尿排泄の問題が特に大きな箇所について、関係行政機関及び関係団体とともに改善に向けた具体策を検討	短期 中期 長期
3	大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言の推進	・普及宣言の内容に関する各取組状況について、継続的にフォローアップし検証を行う必要	・関係行政機関及び関係団体と連携・協力し、各取組内容（歩道や野営指定地等の利用状況、し尿痕跡数、トイレブースの設置数、トイレブース利用状況、携帯トイレ持参率・回収数・販売数など）について継続的に調査・把握するとともに情報発信を強化	短期 中期 長期

大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会 第1回会議 共有資料

令和4年7月15日
山のトイレを考える会

1. 携帯トイレ回収ボックスに誤操作防止カウンター取付け

(目的) 回収ボックスに投入した使用済み携帯トイレの数を把握し、普及の指標に使う

(理由) 携帯トイレの数をカウントするには、従来、回収者が1個ずつ手に取って数えていた。悪臭もするし、非常に不衛生で回収者に負担がかかっていた。

また、登山者はカウントボタンを押さず、誤ってリセットボタンを廻すことがあり、正確でないことが多かった

(取付箇所) 十勝岳温泉登山口(6/21)、十勝岳望岳台(6/25)、白金温泉(6/25)



2. 2022年版山のトイレマップの配布について

2019年から大雪山国立公園の宿泊施設、ビジターセンター、森林管理署、山岳関係事業者等をお願いして山のトイレマップを配備、配布をお願いしています。

2022年版も北海道全体で10,000部印刷。大雪山での配備は昨年と同じ15箇所となり、6月末に全て発送しました。



銀泉台登山口入山届受付(2021年)

■白雲岳避難小屋付帯トイレ

- ・白雲岳避難小屋の付帯トイレの再整備に向けて、測量調査、設計を実施。
- ・場所の選定、構造規模・処理方式等については、「大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会」などを通じて検討を予定。



■忠別岳南避難小屋及び付帯トイレ

- ・忠別岳南避難小屋及び付帯トイレの再整備に向けて、測量調査、設計を実施。
- ・場所の選定、構造規模・処理方式等については、「大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会」などを通じて検討を予定。



■中岳温泉、銀泉台～赤岳において、仮設のテント式携帯トイレブースを設置



中岳温泉

令和4年7月12日～8月2日、9月8日～10月3日
強風等で飛ばされにくい岩陰に設置。

銀泉台～赤岳

令和4年9月18日～26日
赤岳9合目付近に設置予定。

■黒岳石室前普及キャンペーン

今年度においても引き続き携帯トイレの普及拡大に向けた啓発活動を行うとともに、黒岳石室における途中区間等における有効的な携帯トイレブースの設置について可能性の検討を行う。



■銀泉台普及キャンペーン

昨年度に山のトイレを考える会より提供された携帯トイレ回収ボックスの運用を引き続き行うとともに、普及啓発活動として、登山者に対する常設トイレ（登山口）の最終案内、自作携帯トイレの配布を実施する。



■美瑛富士携帯トイレブースの運用



美瑛富士携帯トイレブースの維持管理に関する協定書に基づき北海道地方環境事務所、美瑛町、美瑛富士トイレ管理連絡会の3者が協同で維持管理を行う。

■南沼汚名返上プロジェクト

- 令和3年度より、トムラウシ短縮登山口に携帯トイレ配布ボックスを設置し、協力金の収受を試行。
- トムラウシ南沼野営指定地のテント数カウントや、同指定地周辺の野外し尿痕跡調査も継続実施中。また、登山口から南沼へ向かう道中への携帯トイレブース設置の可能性も検討する。



■大雪高原温泉沼めぐり登山コース内の携帯トイレブースの常設化 (ヒグマ監視等業務受託者の協力により実施)



携帯トイレ自動販売機について

Asahidake Trail Keeper

ご要望があれば製作いたします。



参考画像

※外装は変更になります。

外形寸法： 約 500(W) × 340(D) × 700(H) mm

重量： 約16kg

対応携帯トイレ： 大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ（株式会社総合サービス製）

商品収容数： 最大30個

販売価格設定： 500円

使用可能硬貨： 100円硬貨（5枚）、500円硬貨

動作仕様： 無電源引出し式

表示： 販売中 ON SALE / 残数1 / 売切れ SOLD OUT

その他機能： 非対応硬貨返却（釣り銭機能なし）

売切れ時硬貨投入不可

材質： 木材、ASA、アルミ、アクリル

推奨使用環境： 気温0～27℃

多湿を避ける

直接雨が当たらない場所

（サイズを小さくする、軽くする、材質など変更できる場合があります。）